

南米の日本語教育実践報告

128

【ブラジル】 日系の文化的資源と日本語教育

原田真子 (JICA青年ボランティア、サントアマーロ日本語学校)

日系の文化的資源と日本語教育

JICAボランティア

サントアマーロ日伯文化協会日本語学校

原田 真子

サントアマーロ日伯文化協会日本語学校

・学習者数 約40名

子どもクラス (4～13歳) 20名 日系90%

大人クラス (17歳～73歳) 20名 日系70%

・教師2名(子どもクラス担当) + JICAボランティア1名(大人クラス担当)

☆学校の目標は、様々な日本語学習ニーズに応えることです。

年齢・レベル共に幅広い方々が日本語学習に励んでいます。



日系の文化的資源

行事、食文化

スポーツ、カラオケ

アニメ、マンガ など

☆外国語を学ぶときは、同時に文化の違いを理解する必要があると思います。

日系社会では多くの人々に親しまれている日本文化を活用した学習が可能です。

日常にあるニホンゴ

「子どもの頃、『坊ちゃん』と言われましたが、どんな意味ですか？」

坊、坊ちゃん... 男の子を親しんで呼ぶ称

☆この質問は他の学習者も語彙を楽しく覚えるきっかけになりました！

桜 の 坊 → さくらんぼ

SAKURA NO BOU → SAKURANBO 🍒桜の木になる子どものような実🍒

日本滞在経験で...

- ・感動... 食べ物おいしい、街がきれい、時間に正確
- ・驚き... 店員の話し方が皆同じ、野菜・果物が高い
- ・困惑... 地下鉄網が複雑、ゴミの分別が細かい、大浴場
- ・恐怖... 幽霊

☆学習者の皆さんとの会話から、文化授業や文化紹介のヒントをいただいています！

・リサイクルでお雛様 →
卵の殻を使いました！



JICAボランティアとして～私にできること～

JICAのボランティアとして日本から来た私を、任地の皆様は温かく迎えてくださいました。

多くの方が「今の日本語を学び、今の日本を知る」ことが、日系社会の未来につながる
と考えていらっしゃることを知りました。私にできることは何かと考える日々で、このようなお話を聞かせていただき、ここでの私は「日本人である」ことが一番の強みだと思えるようになった
のです。

そして主に日常をテーマにした文化紹介を始めると、学習者の皆さん同士での会話も増え
私も皆さんから色々なことを教えていただくことのできる大切な時間となりました。ブラジル日系
社会で「日本を知りたい、日本文化を大切にしよう」と考える方々とふれあうことができ、今は日本と
ブラジルのつながりがより強いものになってほしいと願いながら活動しております。

ありがとうございました。